

## 町長の政治姿勢

### あったか町政の実現は

#### 答弁Ⅱ行政サービスの向上に一層取り組む



森田 ちづこ 議員

平成30年は例を見ない猛暑が続いた。全国の公立小中学校の教室でエアコンが設置されているのは47%だ。町は平成29年度中にすべての小中学校にエアコンを設置し、生徒は喜び、保護者から感謝の声があった。平成29年度は大型の事業が多くあり、年度末の地方債(借金)の残高が152億108万3000円となった。しかし将来国より交付税として交付される金額は153億6439万7000円となっており将来負担比率はマイナス85%であり、町の借金と言うより国の借金であると思うが、見解は。

#### 池田町長

平成29年度は伊野小学校改築事業(約12億円)、仁淀消防組合本部改築工事(約7億円)などの防災・減債対策事業の増額が主な要因となり、地方債残高が多くなった。

地方債より将来国から交付税算入される金額が多くなっているのは、受け継がれた財政手法で、交付税算入の多い事業を選択しているからである。

### 通学路の安全確保

#### 森田議員

通学路の安全対策は図ら

### 安心・安全な学校給食を

#### 答弁Ⅱ地産地消の推進体制を整えていく

#### 森田議員

今、日本の食の安全がおりやかされている。危険な遺伝子組み換え食品。世界は禁止方向であるのに、日本はどんどん消費され、知らず知らずに健康をむしば

れているか。

#### 山崎教育次長

「いの町通学路安全対策連絡協議会」が毎年4月に学校に対し、通学路の危険箇所の調査を行っている。報告された危険箇所については「いの町通学路安全対策協議会」のメンバーが揃って合同点検を実施している。その後に、それぞれの危険箇所の対策内容を全員で検討し、関係機関が歩道整備他交通安全対策を実施している。3年間で65件の危険箇所が報告され63件については対策を講じており、2件は現在継続中である。

### 野生鳥獣被害対策は

#### 答弁Ⅱ捕獲と防除を行っている

#### 森田議員

耕作放棄地が増加し、野生鳥獣による農産物の被害が多くなっている。

野生鳥獣の被害に対してどのような対策を講じているか。

#### 森田産業経済課長

ワナやオリを設置したり、銃を使って捕獲を行っている。捕獲従事者の確保のため農業者などにワナの免許を促し、免許取得にかかる費用の補助や、町が保有する捕獲オリの貸し出しを行っている。

「防除」は農業者が設置するトタンや電気柵、ワイヤーメッシュ柵などの防護柵の資材費用に対し補助金を交付している。

給を確保するのに県外産を使わざるをえなかったためである。現在、地元業者や紙博直販、生産者などと連絡を取り合い、可能な範囲での地元食材を活用している。

### 池ノ内の災害復旧工事

#### 森田議員

池ノ内で豪雨により山側が一部崩壊し、住民が大変苦勞をしている。復旧工事と住民周知は。

#### 水田土木課長

工事は平成30年9月5日に公共土木施設災害復旧工事として、国土交通省に採択されたので、9月末に発注し10月末ごろには工事に着手できる予定である。業者と契約が整い次第、地区住民には回覧文書で知らせる。